

今治タオルアカデミー 受講者の声

渡辺パイル織物株式会社

渡邊文雄氏



色々な分野を1年間通して学ことができ、自社工場の方と今までより深く話ができるようになりました。例えば、整経の授業の際に糸の立て方や制限の中を知ることで、ものづくりのアイデアに生かされると同時に、自分で作業することで、伸べ士さんの大変さを学ことができました。工房館にある設備や講師の先生の経験に基づく機械の内容が多いので、全く同じ機械が無かったとしても、多くの知識を得ることができます。アカデミーで一緒に受講する仲間にも恵まれ、それぞれ会社も業務内容も異なるメンバーなので、受講する科目によって教え、支え合いながら講義を進めました。講師の先生をはじめ、他の企業の方とタオルの技術の話ができることはなかなか無く新鮮で、重要な機会となりました。

受講に当たっては、自社の設備を知っているとより理解が深まると思います。例えば、織機のメーカーや型番、ジャカードなどです。わからない場合は会社に帰って聞いて改めて質問しても良いと思います。

有限会社吉井啓

吉井景一郎氏



私が今治タオルアカデミーを受講しようと思ったきっかけは、タオル製造ほぼすべての基礎・基本を徹底して学べるのと、普段従事している作業の前後の作業を理解することでより理解が深まると思ったからです。また、他社の方が講義して下さるので普段とは違った問題解決のプロセスを学べると思ったのも興味を持ったきっかけの1つです。

実際に受講しての感想としては、紡績から仕上げまで各分野に精通している方が講義して下さるので基礎・基本はもちろん、受講前に想像していた以上に知識を身につけることができました。とりわけ、様々な作業方法等を知る事で、今まで出来なかった対策を学べたことがよかったです。講義は組合の工房館で行われることが多く、いい意味で失敗できる環境がありトライ&エラーを繰り返しながら周りの受講生と話し合えました。座学だけでなく実際に作業することでより深く理解ができました。